

佐賀県高度情報化推進協議会 ICT利活用講演会

ICT×防災×市民参加

2016.11.24

株式会社ローカルメディアラボ

牛島 清豪

防災・減災

SNS
ソーシャルメディア

オープンデータ
シビックテック

両者に共通するキーワード「市民参加」

自己紹介

牛島 清豪（うしじま せいごう）

- ・株式会社ローカルメディアラボ代表取締役
- ・一般社団法人九州テレコム振興センター主任研究員
- ・Code for Saga代表
- ・オープンデータ伝道師（内閣官房IT総合戦略室）

佐賀県鳥栖市出身 佐賀市在住 46歳

熊本大学文学部地域科学科民俗学コース卒

1994年 佐賀新聞社に入社（16年勤務）

事業・販売・広告を経て、経営企画室・デジタル戦略チームなど

2010年 佐賀市で、ローカルメディアラボを設立。7期目。

2014年 Code for Saga立ち上げ

2016年 オープンデータ伝道師に任命

CGM / SNS / マーケティング /
メディア / クロスメディアプロモーション / コミュニケーションデザイン / 地域
情報化 / Webサービス設計 / オープ
ンデータ / シビックテック / ワークショッ
プ設計・ファシリテーション

業務ドメイン

- ・メディアコンサルタント（地域からの情報発信）
- ・コミュニケーションデザイナー

新聞社・地方テレビ局やIT系企業のアドバイザー、自治体のネット活用アドバイザー、ウェブサービス企画・構築・運用、企業のソーシャルメディア利活用サポート、広報戦略構築、中山間地域の情報化支援、新しい広告・広報展開のプランニング、オープンデータ活用戦略構築、各種講演・社内研修講師、ワークショップファシリテーションなど

佐賀県内・静岡・東京・肝付（鹿児島）・湯前（熊本）・壱岐（長崎）・・・

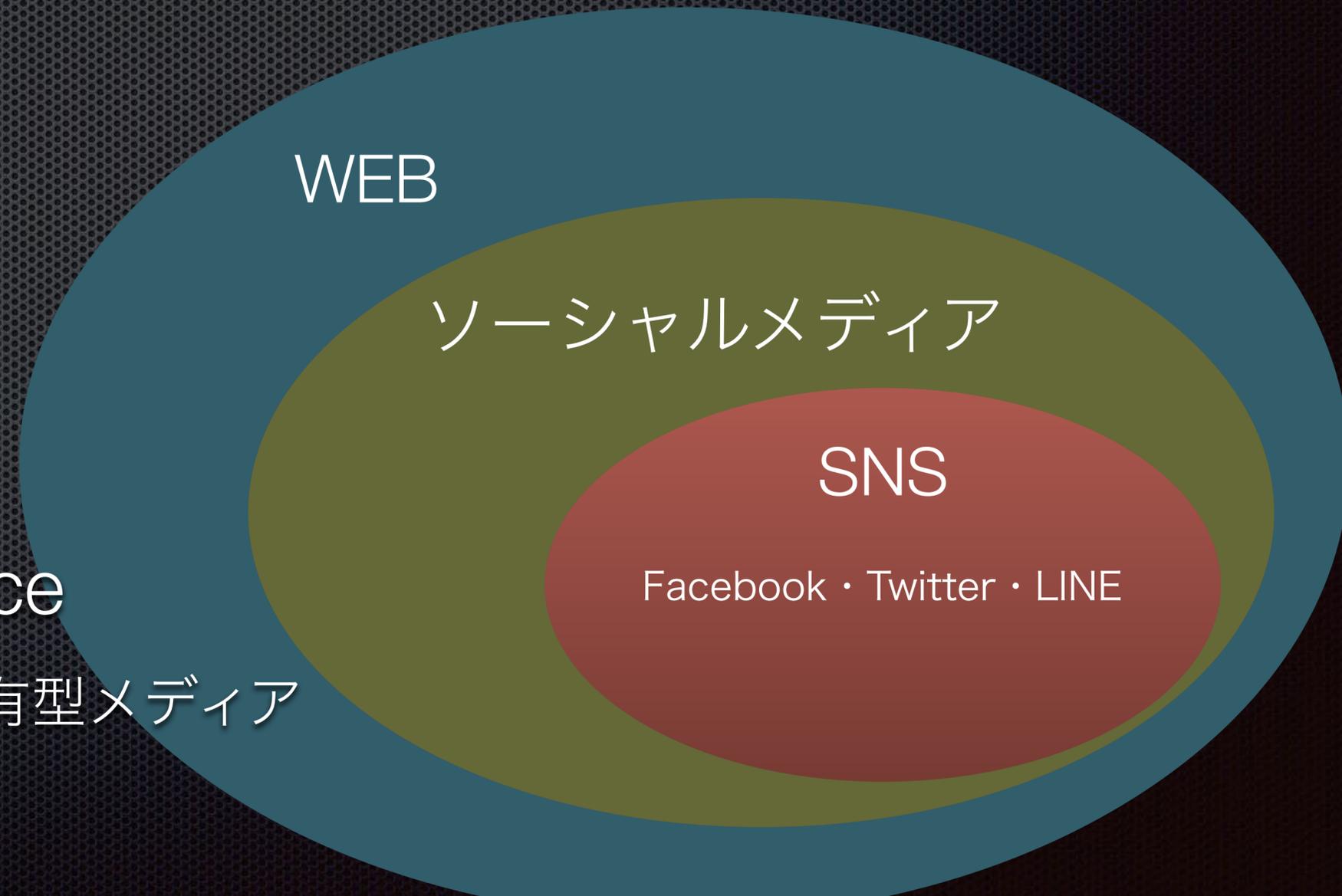
ソーシャルメディアの可能性

ソーシャルメディアとは

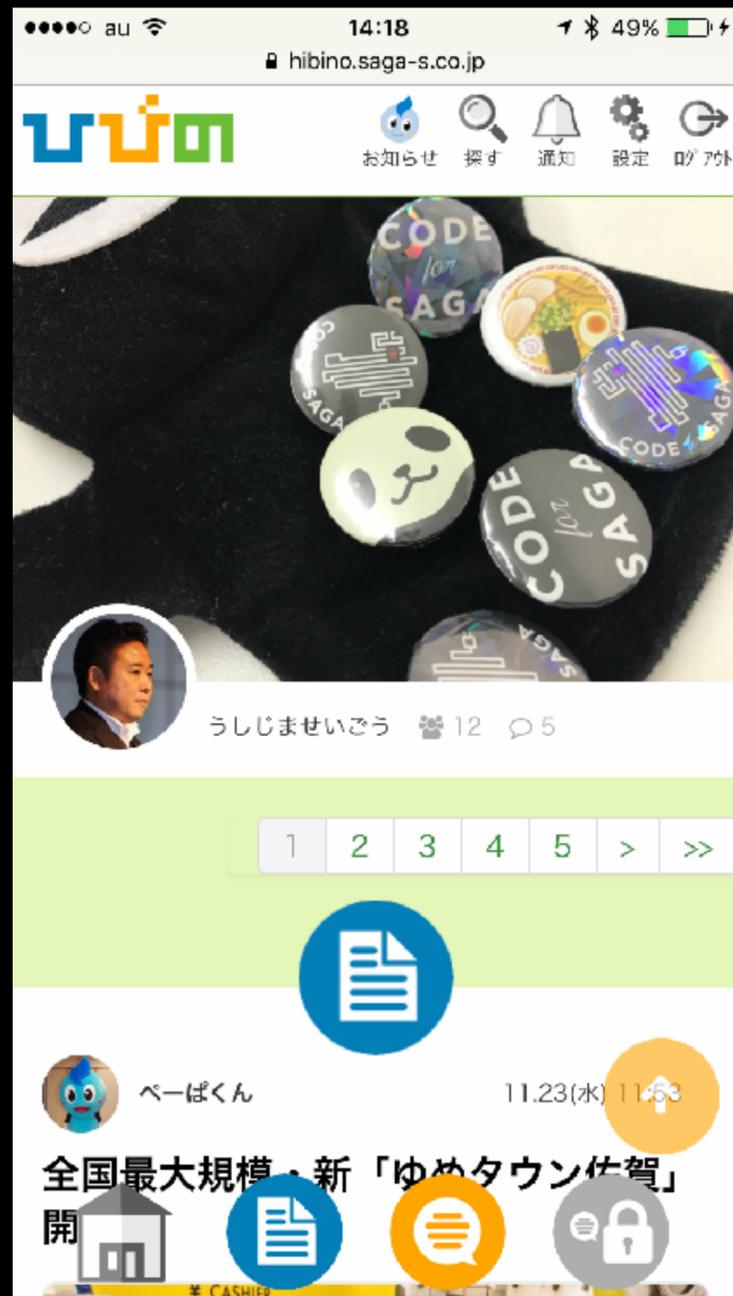
ソーシャルメディアとは、インターネット上で展開される情報メディアのあり方で、個人による情報発信や個人間のコミュニケーション、人の結びつきを利用した情報流通などといった社会的な要素を含んだメディアのこと。 IT用語辞典から

SNS...Social Networking Service

人のつながりを介し情報が広がる参加共有型メディア



ひびのコミュニティの挑戦



- 2006年10月 新聞社初のSNS導入
- ニュース×コミュニティの可能性
- 市民参加型メディアの試行

- 2016年11月に会員制掲示板としてリニューアル

ソーシャルメディアの可能性

- 誰もが情報発信者にも受信者にもなれる
- 人のつながりを介して情報が伝わりやすい
- リアルタイムに流通している情報を知ることができる（今、どこで…
- スマートフォンとの相性がよい

防災・減災との相性がよい！

私が見てきた、SNS×災害

福岡西方沖地震

中越地震

03~04年 ブログブーム

04年~ SNSブーム (mixi gree Myspace Friendstar)

06年~ 地域SNS (総務省の後押し)
全国300箇所以上で

06年 Twitterスタート
Facebook一般公開

08年 Twitter・Facebook日本語化

東日本大震災
ICT×防災×市民参加の潮流

10~11年 Facebookユーザーが激増

11年 LINEがサービス開始

熊本大分地震

中越地震

2004年10月23日

livedoor® *Blog*

goo ブログ 

Seesaa BLOG 

- 国内でもブログブーム
- 災害報道時、マスコミ取材の問題点を指摘するブロガー
- マスコミが流す情報だけが、情報ではないこと。市民が情報発信することの可能性。
- 参加型ジャーナリズム

福岡西方沖地震

2005年3月20日



- 役に立ったのは電波とインターネット。こんな時に新聞社には何が出来るのか？
- 随分たくさんの方々から、「大丈夫？」の電話やメールをいただいたのですが、そのほとんどの人が「玄界島の映像」と「福岡佐賀で震度6弱」の情報だけで、事の全てを推測しているのです。これが情報の混乱を招いているのかもしれない。

2005年3月21日、私のミクシィ日記から

東日本大震災

2011年3月11日



• Twitterが活躍した

- 交通機関の情報
- 帰宅困難者向けの情報

• 課題も山積の状態

- 非公式なRTの問題
- 情報の鮮度、タイムスタンプ
- 悪意のあるデマ
- 悪意のないデマ拡散への加担

熊本大分地震

2016年4月14日、16日



- ツールが多様化し便利になった一方で、
情報流通は、より複雑に
 - フロー情報が多く、まとめられていない
 - 地元の大学生が、避難所を回って状況を
レポートした例
 - LINEで回ってきた情報をFacebookに書
き込み（伝言ゲームの危険性）
 - 上手く使えている自治体とそうでない自
治体の温度差
 - デマの問題

熊本市長 大西一史 フォローする

@K_Onishi

熊本市長の大西です。市民の皆さん被災状況は大丈夫ですか？余震にご注意下さい。まず身の回りの安全を確保して落ち着いて行動して下さい。現在私は市役所におります。被災状況の確認と災害対策に全力をあげます。

15,475 9,108

リツイート いいね

21:50 - 2016年4月14日

15,475 9,108

災害時のソーシャルメディアの可能性

- 新聞やテレビに伝えることができない、よりリアルで幅広い情報
- ユーザーみんなが、現地レポーターになりうる
- 写真、動画＋位置情報を発信できる端末“スマートフォン”
- 適正な情報を、より広く、より早く、プッシュで伝えることができる

災害時のソーシャルメディアの課題

- 情報鮮度の問題、すべての情報にはタイムスタンプが必要
- フロー型情報を、どのように有意なスタイルにまとめるのか
- デマの問題、特に悪意のないデマへの加担。“プロ”も含めて。
- 情報の偏り、自治体の温度差
- 有益な情報が知られないこと（平常時からの情報発信）

メディア・リテラシー

情報と上手く付き合い、読み解き、真偽を見極め、活用するスキル

社会全体で、日常的に、ICT利活用と情報モラル教育
を両輪として推進していく必要がある。

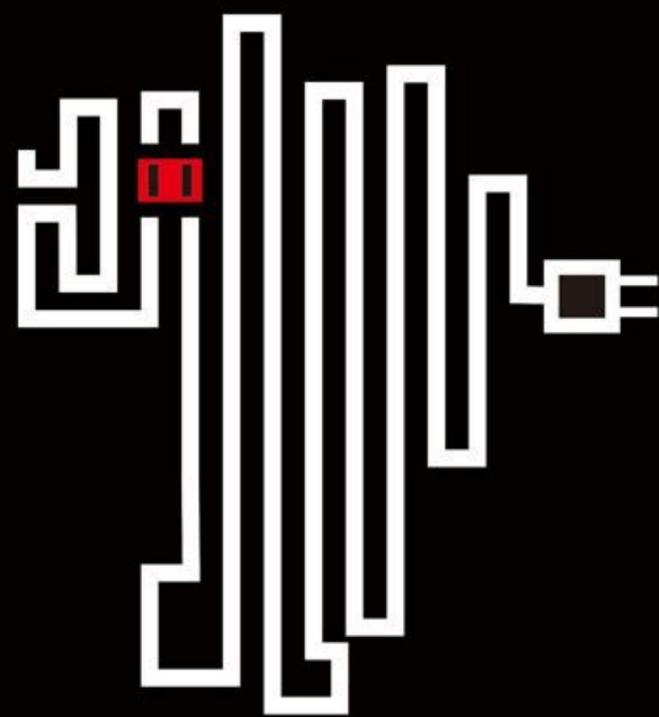
オープンデータと市民参加

オープン データ

Open GovernmentData Movement

Why Open Government Data?

- ①透明性、アクセス・共有・再利用しやすく（開放）
- ②データから、社会的価値、ビジネス的な価値を生み出す
- ③データを開放することで、市民参加が促進される



CODE
for
SAGA



ICTの力で、私たちの街をもっと暮らしやすいところに…

① 行政・企業＝オープンデータ化

OPEN/開放

潤滑油が必要！

→ **Code for Saga**

PARTICIPATION/参加

② 市民や企業によるデータ活用

③ 市民によるデータ生成

みんなで作る地図

佐賀で3回目の開催になる国際・オープンデータデー。佐賀市、有田町に続き、2016年は小城市で開催、地元PTAの皆さんと、小学校区の交通安全マップ（オープンストリートマップ、uMapを活用）を作りました。



通学路のチェック
親子まちあるき



持ち寄ったデータを
マッピング作業

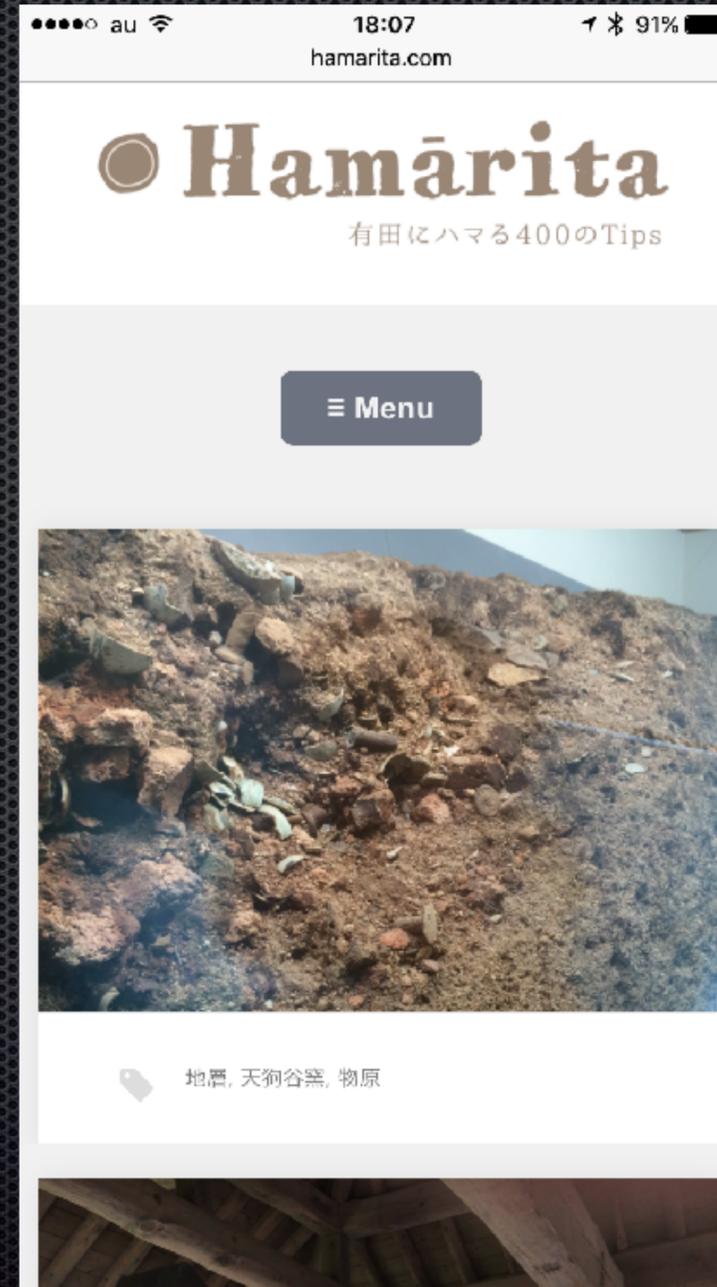


通学路の危険箇所を地図にまとめ
ウェブ上で公開

“日曜大工”でサービスを作る

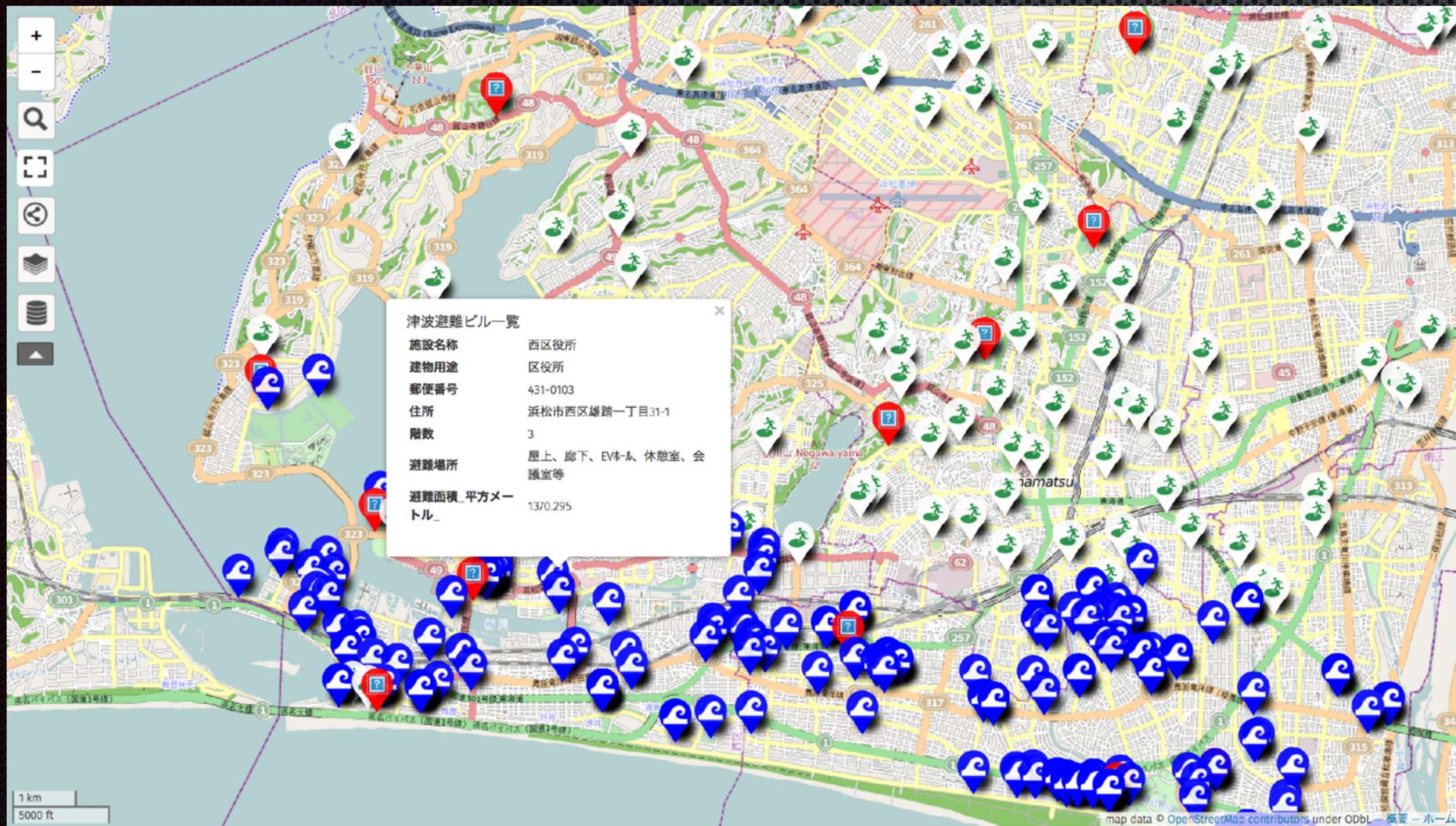


<http://saga.5374.jp>



<http://www.hamarita.com>

データを見える化すること



浜松市のオープンデータを活用した、
避難所、津波避難ビルの一覧
uMAPを活用

(事例) 消火栓才一ナ一制度

ADOPT A HYDRANT

Claim responsibility for shoveling out a fire hydrant after it snows.

Email address

I haven't signed up yet
 I've already signed up

Name (visible to others)

Organization (visible to others)

Home phone number

617-555-1212

Mobile phone number

857-555-1212

Choose a password

Sign up

By signing up, you agree to the [Terms of Service.](#)

CODE for AMERICA

Built in BOSTON

Louie has been adopted by Lace Dale of Dale Sale

Code for Americaとボストン市が提供しているサービス。市内の消火栓のデータをオープン化し、それを一覧化、ゲーム性をもたせることで効率化。

(事例) Fix My Street

FixMyStreet Japan あなたのレポート ログイン サイトについて

別府市 レポートを投稿

道路に穴、温泉?漏れ

別府市 道路の問題

2016/11/22 14:39

ルバン

モバイルアプリ

App Store でダウンロード

ANDROID APP ON

市民が、道路の陥没箇所などを通報し役場が対応状況をアップしていく。市民参加で町をメンテナンスしていく取り組み

防災×市民参加

防災アイデアソン・ハッカソン



10月1日に福岡市で開催された
BODIK防災アイデアソンの様子

ナショナルレジリエンスコミュニティ

内閣官房国土強靱化推進室×市民、企業などからの参加



災害に、しなやかに対応していける
国づくりを進めていこう

国や自治体だけでなく、いろいろな参加
者によるコミュニティ形成を重視

減災インフォ・TKM47

当サイトについて 出典 メディア掲載/受賞/講演 お問い合わせ ボランティア サイトの使い方 Search

減災インフォ

災害を防ぐこと(防災)は難しいけれど、被害を減らすこと(減災)はできる。

新着情報

- 2016年10月31日 **NEW!** 東京防災アイデアワークショップに参加しました
- 2016年9月5日 【平成28年台風10号】寄付・義援金・支援金に関するまとめ(9/5公開)
- 2016年6月4日 レポートその3:ディスカッション編【熊本地震 情報支援連携会議】
- 2016年6月4日 レポートその2:活動報告編【熊本地震 情報支援連携会議】
- 2016年6月4日 レポートその1:イントロ編【熊本地震 情報支援連携会議】

ホーム 【平成28年度 熊本地震 ページ】 (まんが) 災害時の物資支援 ブログ 自治体と地域メディア

災害の種類とこれまで 勉強会 減災 友だちの輪☆

減災インフォ公式TWITTER

@gensaiinfoさんのツイート

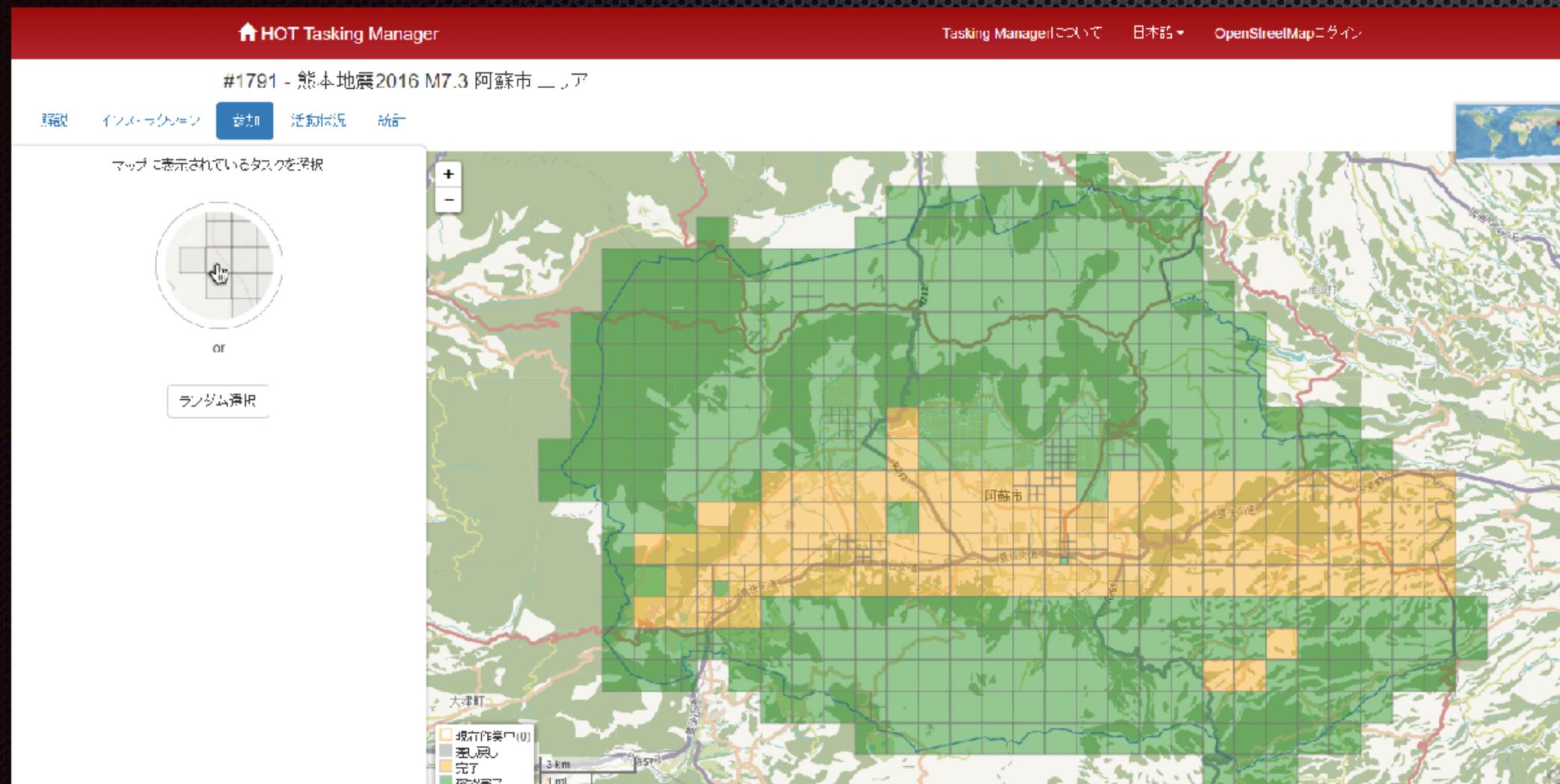
減災インフォ @gensaiinfo
気象センサー@東京による予報。これからぐんぐん下がり、最高気温も3°C!

| 11月23日水 | 11月24日木 | 11月25日金 |
|---------|---------|---------|
| ☁ | ☁ | ☀ |
| 11° 12° | 1° 3° | 2° 9° |
| 28 km/h | 26 km/h | 22 km/h |
| 0.7 mm | 19.2 mm | 0.0 mm |
| 2.5 h | 0.2 h | 8.6 h |
| uv 3 | uv 2 | uv 2 |

もっと地域のTwitter~日本の自治体公式ツイッター、自動でお答えします! #5年目



クライシスマッピング



大規模災害が起きた際に、世界中のマッパーが、その地域のオープンストリートマップ (OSM) を充実させるために、航空写真をベースに地図を書く支援。OSMは、プリントアウト等の制限がないため、被災地で活用しやすい。

熊本地震では、由布市のマッピングに参加。

おわりに

これからの防災・減災の取り組み

SNSの効果的活用を！

市民一人ひとりが
情報発信者に！

データ活用を市民とともに！

自分ごととして
防災減災に何が必要か考える

両者に共通するキーワード「市民参加」